

經濟部 中華民国 台湾投資通信

Vol. 315
Jun 2026

頼總統が日本の衆議院議員3名と会談、経済・貿易・技術面における実質的協力の深化に期待！

頼清徳大統領は4月30日、日本の衆議院議員らと会談。台湾のエネルギー政策・フェイクニュース対策などの議題に重点を置き、デジタルと経済安全保障分野における二国間協力の強化に期待を寄せました。

NEDO、分野横断した日台企業のクロスオーバー協力促進を目的に、台湾で初となる説明会を開催

NEDO、分野横断した日台企業のクロスオーバー協力促進を目的に、台湾で初となる説明会を開催。

日本の国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は4月28日、台湾で日台企業協力計画のサポート説明会を開催しました。AI・半導体・マテリアル・バイオテクノロジー・省エネ・炭素削減などの分野において、日台企業共同の国際協力プロジェクトの立ち上げ促進を図りました。

台日の経済貿易の動向

日台の二国間投資の概況および事例、日台の技術協力・日台の産業協力など。

最近の台日の貿易活動について

台湾エキスポ・ジャパン、2026年メディカルジャパン東京、2026年台湾グローバル投資誘致フォーラム。

最近のトピック

頼總統は日本の衆議院議員三名と会談し、台湾と日本の経済貿易・テクノロジーなどの各分野における双方の実質的な協力が深まることに期待を寄せました

日本の衆議院議員、平将明氏、木原誠二氏と西野太亮氏らの一行が2026年4月29日から5月1日にかけて訪台した際、台湾の頼清徳總統と会談。また、外務大臣の林佳龍氏、国家安全会議、国防部、デジタル発展部および台湾日本関係協会を表敬訪問し、日台関係およびインド太平洋地域の情勢など、日台両国共通の関心事項について、深く掘り下げた意見交換を行いました。

平将明衆議院議員はこれまで日本のデジタル大臣、内閣府副大臣および経済産業大臣政務官を歴任。今回は国会議員として初の訪台です。木原誠二衆議院議員と西野太亮衆議院議員もそれぞれ政府の要職を歴任しており、同議員らはいずれも、日本の政界において中堅勢力を担う重要人物です。

日本側は特に台湾のエネルギー政策や中国共産党とのフェイクニュース情報戦といった点に注目しており、デジタルおよび経済安全保障の分野において、台日の二国間協力がより強化されることに期待を寄せています。台日の両国は、自由民主性・人権・法治などのコアバリューを共有しており、また、第一列島線における重要なパートナーでもあります。このたびの訪台は、両国の経済貿易やテクノロジーなどの各分野における実質的な協力を深化させ、インド太平洋地域の安全保障上の課題にも共同で対応するなど、より緊密で強固な友好関係を構築する一助となりました。

NEDO日台企業の協力プラン説明会を開催、越境テクノロジー展開加速のために連携

2026年4月28日、日本の国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が台湾を初訪問。台湾経済省産業発展署のサポートを受け、日台産業連携推進オフィス(TJPO)とNEDOの共同で「日台企業連携プロジェクト助成制度説明会」が開催されました。このたびの説明会では、NEDOが国際協力支援の仕組みを紹介したほか、海外での実証および事業化を推進する補助制度についての説明を行いました。また、産業イノベーションプラットフォームにおける日台協力プロジェクトに関するサポートプラン

についても説明を行い、研究開発・実証および産業化に関する助成リソースを提供。実現可能性に関する研究を行い、実証と産業化などといった異なるフェーズに対するフレキシブルな助成で、AI・半導体・材料・バイオテクノロジーおよび省エネ・CO2削減などの分野における日台双方企業の国際協力プロジェクトの協同と、CO2削減および省エネ効果を有する技術の発展のスピードアップを促進を図ります。

日台経済貿易の動向

台湾と日本の二国間投資の概要と事例

経済省投資審議司の統計によると、2026年4月末までに日本から台湾への認可済みの投資は累計12,532件で、金額は約279億USドルに達しており、日本は台湾において四番目に高額な投資国になりました。2026年1月～4月における投資の構成を見ると、金融と保険業(約4,178万USドル)、製造業(機械設備および非金属鉱物製品を含む、約3,008万USドル)、および卸売と小売業(約2,845万USドル)が上位3分野を占めています。これら3分野の合計は当期投資総額の9割を超えており、台湾における日本企業の事業戦略が、従前の製造業からサービス業・金融分野へと、投資が拡大していることを表しています。また同期間における台湾の対日本投資は累計1,218件で、投資金額は約199億USドル。2026年1月～4月の期間、卸売および小売業(約8,011万USドル)が首位を占めており、台湾企業が日本のローカルチャネルの深耕を積極的に図っていることを反映しています。金融・保険業(約1,495万USドル)および電力・ガス供給業(約703万USドル)も顕著な成果を上げており、日本市場における台湾企業の戦略展開は、徐々にエネルギーおよびファイナンス分野へと拡大しています。

日系企業の対台湾への投資事例について、TSMCが先端プロセスを推し進め、サプライチェーンのローカル化が求められる状況下、日本の主要材料のメーカーは近年、台湾での展開ペースを顕著に加速させています。

台塑大金精密化学株式会社(Formosa Daikin Advanced Chemicals Co., Ltd.)は、台湾プラスチック工業株式会社と日本のダイキン工業株式会社(Daikin Industries, Ltd.)の合資会社として設立されました。台湾国内における半導体向け電子化学品の重要なサプライヤーで、高純度フッ化水素酸、フッ化アンモニウムおよびバッファードフッ化水素酸などの製品は国内半導体の市場シェア55%を超えています。約19億台湾ドルを投じて高雄大発工場を拡張する計画は、今年(2026年)1月に経済省の審査を通過しました。それにより、台湾半導体材料サプライチェーンの自前の生産能力はさらにアップすると見られています。

日系の半導体材料の大手メーカー、JSR株式会社(JSR Corporation)傘下の台湾捷時雅電子材料株式会社(JSR Taiwan Electronic Materials Co., Ltd.)は今年(2026年)4月、新竹県湖口郷にて「先端平坦化プロセスソリューション共同研究センター」を始動させました。アメリカのApplied Materialsと協力して、TSMC・JSRとApplied Materialsによる、応用材料の三社協力プラットフォームを構築。CMP(CheMical MeChanical Planarization)研磨液のローカル研究開発と検証に専念し、TSMCが進める2ナノ以下の次世代プロセスのニーズを直接つかむことを目標としています。このことは、国際的トップクラスの材料メーカーらが、台湾において長期的な深耕を図っていることを表しています。

日台の技術協力

サプライチェーンの安全面に対応するために、台湾と日本によるドローン産業の戦略的提携が加速しています。台湾企業である新樂飛ドローン(7A Drones)と日本のAlter Skyは2026年に大型物流ドローン共同開発の提携協定を締結。また同年3月31日には、日本のAutonomy HDと嘉義県のアジアドローンAIイノベーション応用研究開発センター(Asia UAV AI Innovation Application R&D Center)は、戦略的提携の

覚書に正式署名しました。機体構造・動力システム・バッテリー・モーターなどで有している製造上の優位性を通じ、日本の飛行制御システムや地上制御システムなどのコア技術を結合させて、共同で次世代の高自律性ドローンを開発し、中国に依存しない非レッドサプライチェーン体制の構築を共に推し進めます。

日台産業協力の発展について

今年(2026年)台湾の再生医療産業では、国家チームとして初となるグループが組織され、台湾医界連盟基金会(Foundation of Medical Professionals Alliance in Taiwan)である宇越バイオファーマ(UWELL Biopharma)、台湾バイオサイエンス(TLC BioSciences)など6社と共に、3月19日から21日の期間に神戸で開催された日本再生医療学会(JSRM)と国際細胞・遺伝子治療学会(ISCT)の合同年會に参加。細胞治療、遺伝子療法、自動化細胞製造などの分野において、台湾が現有する統合的な実力を誇示しました。台湾と日本の再生医療についての法規整備の基盤は成熟しつつあり、臨床研究の協力・技術交流・産業チェーンの統合などの面において、日台両国はハイレベルな補完性を有して

おり、これらは半導体に続く、日台連携の次なる重要戦略領域と目されています。4月21日、経済省産業技術司は、指標的なメーカー16社を率いて「台湾医薬パビリオン」を組織し、グローバル指標である国際医薬品開発展CPI Japanに国家チームとして参加しました。また会期初日には、日本において非常に重要なバイオメディカル集約地である、湘南ヘルスイノベーションパーク(iPark Institute)と台湾の工研院との間で、協力協定を正式に締結しました。両国の研究開発・臨床および製造能力を統合して、台湾と日本の相互補完的な市場展開の仕組みを構築。台湾のバイオ医療産業が日本およびアジア太平洋市場に進出するための重要な基盤を打ち立てました。

インフォメーションコーナー

台湾エキスポ・ジャパン (Taiwan Expo in Japan)

会 期 : 2026年7月15日(水)~7月17日(金)

会 場 : 新宿住友ビル 三角広場

活動内容: 台湾と日本の二国間ビジネスに完全フォーカスしたイベントです。出展分野は通常、国家政策に沿っており、半導体サプライチェーン・AIアプリケーション・スマート製造とグリーンエネルギーを包括しています。イベント会場では、台湾と日本の企業が直接、ワンオンワンで行うビジネスマッチング商談会を実施。台湾企業が日本へ進出する際や日本における提携パートナー探しをするにあたり、最も適した公式チャンネルです。

主 催 : 経済省国際貿易署

運 営 : 中華民國對外貿易發展協會

イベントインフ

ォメーション: <https://events.taiwantrade.com/JPN2026>

2026年メディカルジャパン東京

会 期 : 2026年10月7日(水)~10月9日(金)

会 場 : 千葉幕張メッセ

活動内容: このメディカルジャパン(International Hospital & Medical Equipment Fair)は、日本を代表する国際医療メッセで、医療機器・医療設備・高齢者ケアおよび製薬業界らで構成されます。この展示会は日本を始めとした、アジアの医療・高齢者ケアおよび製薬業界へアプローチできる重要な機会です。バイオメディカル分野における日台協力が日々深化している状況を受け、このたび台湾の産官学共同研究のための「台湾国家医療機器チーム」を組織し、Team Taiwanの形で、台湾と日本の医療産業の相互交流と国際協力を推進し、二国間のメディカル連携を促進します。

主 催 : 経済省国際貿易署

運 営 : 台湾医療バイオテクノロジー産業協会(Taiwan Medical and Biotech Industry Association)

イベント情報: https://www.tmbia.org.tw/exhibitions_detail.php?id=9900138

2026年台湾グローバル投資フォーラム

イベント日時: 2026年10月20日(火) 14:00

会 場 : 台北南港展エキシビジョンホール2館7F 701C・D会議 (台北市南港区経貿二路2号7F)

イベント内容: イベント内容: 台湾グローバル投資フォーラムは、経済省が本年度に実施するイベントのなかで最も重要な投資誘致イベントです。国際的リーダー企業が集い、台湾政府が定める最新重点産業に焦点を当て、海外企業が台湾と連携し、高い信頼性をもつサプライチェーン構築を促します。フォーラムでは、「AI台湾・世界を繋ぐ」を主軸とし、台湾政府が全面的に推進している「五大信頼産業」および「AI新十大建設」などの政策エネルギーを知らしめ、「台湾への投資三大プラン2.0」、産業イノベーション条例および研究開発補助計画などの奨励措置に関する情報を紹介します。また、国際的な投資機関やAI・半導体関連分野における指標的な多国籍企業の上層部の方々を招いて、AI産業の発展動向を共有し、グローバルサプライチェーン再構築において台湾が担う重要な役割と、提携チャンスについてディスカッションします。AIブームの下、台湾を最優先パートナーとする外国企業と連携し、共に信頼性の高いサプライチェーンを構築することで、グローバルAI産業における戦略的地位を確固たるものにします。

主 催 : 経済省投資促進司

運 営 : 工業技術研究院

イベント情報: <https://aitaiwan.events/ja-jp>

投資相談窓口

投資台湾事務所

100031 台北市中正区愛国東路82号1F

+886-2-2311-2031

経済省投資促進司

100031 台北市中正区愛国東路82号3F

+886-2-2389-2111(内線:218)

InvesTaiwan:



<https://investtaiwan.nat.gov.tw/homePage?lang=jpn>